

キヤノンの「メディカル事業」は常に革新技術に挑み、医療に新たな価値を提供し続けてきた。今後は医療の質向上とともに、長時間労働が社会問題となっている医療従事者の負担軽減も大きな課題だ。キヤノンはどのように貢献していくのか。瀧口登志夫専務執行役員に聞いた。



「共創」で理想の医療に貢献

尊い命を守る医療に貢献

「キヤノンのメディカル事業について教えてくださいませんか。」

「キヤノンは2016年にキヤノンメディカルシステムズをグループに迎え入れ、メディカル事業の核であるキヤノンメディカルは、経営スローガン「Made for Life」を掲げ、技術で医療の進歩に貢献してきましたが、この思いはキヤノンの経営理念「共生」と親和性が高く、深く融合していると感じます。キヤノンのAI人工知能を含む画像処理技術や生産技術などがキヤノンメディカルの知見と融合し、新たな技術が生まれています。」

「医療の高度化に具体的にどのように貢献していきますか。」

「誰もが自分の病気の特性や価値観に合った医療を受けられるプレジジョン・メディスン」の実現を目指しています。そのために「画像診断を核に『バイオサイエンス』『ヘルスケアIT』の領域に力を入れています。画像診断では高精細な画像を得ることが重要です。ディープラーニングを用いて設計した画像再構成技術や開発を進めている次世代フォトンカウンティングCTなど、低被ばくで患者さんの体の負担を抑えながら、ノイズを低減して高精細画像を実現する技術が生まれています。バイオサイエンスでは今年7月、体外診断用医薬品に強みを持つ「ミナリス」メディカル社をグループに迎え入れ、試薬から機器まで一貫して開発・生産できる体制を整えました。再生医療の実現につながる「自家iPS細胞」製造に寄与する自動化装置の開発も公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団との共創で進めています。そして患者さん一人ひとりに向き合うに

はヘルスケアAIが重要です。臨床医が必要な情報を統合・収集し、すぐに使える状態に解析・加工して提供する仕組みをグループ一丸となって開発していきます。」

医療従事者に寄り添う技術

「医師の長時間労働の改善も大きな社会課題になっています。」

「画像診断装置の性能向上により1回の撮影で大量のデータを得られるようになった一方、医師が画像から体の状態を判断し治療方針を決める『読影』の負担が増えました。例えば、がんの骨転移を確認するために全身の画像を定期的に確認するのは相当な負担です。」

「そこでキヤノンの持つAI技術を活用し、画像データを解析して骨の経時変化を早期に発見するための『読影支援』を実現しました。診断画像の高精細化とともに、AIを活用した医師を支援する取り組みも重要です。そのほか院内の様々なシステムに分散している患者さんの検査・投薬・治療情報などを統合管理して、利用シ

「10月の「Canon EXPO 2023」への抱負をお聞かせください。」

「各種画像診断機器やヘルスケアITシステムを展示するとともに、最新の技術開発動向も紹介します。一見医療との関係は薄いように見えるキヤノンの要素技術や生産技術が、近未来の医療に必要なことを感じていただくと幸いです。これまで長らくご支援いただいている医療従事者の方々は、キヤノンの中核事業となったメディカル事業の姿をお見せしたいです。」

キヤノン株式会社
専務執行役員
メディカルグループ管掌
メディカル事業本部長

キヤノンメディカルシステムズ株式会社
代表取締役社長
瀧口 登志夫



Future Focused. Always.
未来の可能性を、ひろげ続けよう



「Canon EXPO 2023」は、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適切に、事業ポートフォリオを大きく転換しつつあるキヤノンの姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。ぜひこの展示会でパワーアップしたキヤノンを体感してください。

【Canon EXPO 2023開催概要】

日時：2023年10月19日(木)・20日(金)
10時～18時(最終入場17時)

場所：パシフィコ横浜ノース
神奈川県横浜市西区
みなとみらい1丁目1番2号



※来場には、事前申し込み(無料)が必要です。 来場登録はこちらから

Canon

make it possible with canon